

令和元年度（2019年度）

肥後っ子いきいき読書環境づくり事業 第1回講座

「絵本のちから、紙芝居のちからに」



- 主催 熊本県立図書館  
期日 令和元年（2019年）9月2日（月）  
13:00～16:30  
会場 熊本県立図書館3階大研修室  
講師 前園 敦子 氏（子どもの本専門店エルマー 代表）  
参加者 107人  
対象 公共図書館、幼稚園・保育園職員、子育て支援センター職員、  
おはなしボランティア・文庫関係者など

前半 講演「子ども・絵本・おとな」

実技 絵本の読み聞かせ

まず、今の子どもたちを取り巻く環境（社会）についてお話いただきました。前園先生が子どもの本専門店エルマーを始めたきっかけや思いも交えながら、絵本の持つちからについてご講演いただきました。

次に、さまざまな絵本を実際に読み聞かせをしながら、本の力を感じる事例を多数紹介していただきました。参加者数名にも読み聞かせをしていただきました。



後半 講演「紙芝居の世界を楽しもう」

実技 紙芝居の実演

質疑応答

まず紙芝居の歴史について、次に絵本と紙芝居の違いについてご講演いただきました。紙芝居には参加型と物語完結型の2つがあることをお話いただき、参加者2名にそれぞれの紙芝居を演じていただいた後、読み手の立ち位置や舞台の開け方・閉め方、場面の抜き方など具体的に教えていただきました。

質疑応答では、絵本の読み聞かせをする際の絵本の本文以外の付け加えや周りの大人の声かけについての質問に答えていただき、絵本の読み手と子どもたちのコミュニケーションを大切にすることを学びました。



## 参加者の感想（アンケートより一部抜粋）

- ・知らない絵本、紙芝居もあり、歴史など知ることができました。  
舞台はあまり使ったことがなかったので、覚えたやり方でたくさん使っていきたいと思います。（保育士）
- ・保育園の子にも自分の子にも読んであげたいという本がたくさんあって、その本の特徴や読み方を知れて、やってみたいと思いました。  
自己肯定感をしっかりつけていきたいと思いました。（保育士）
- ・絵本や紙芝居を通してコミュニケーションが取れる、受け取る側と発信する側があってこそ成立するコミュニケーションで素晴らしいと思いました。  
目を見て、向き合うように、コミュニケーションをより充実させたいです。  
（幼稚園教諭）
- ・福岡の「エルマー」に行きたいと思いました。（子育て支援センター職員）
- ・紙芝居と絵本の違い等が理解できて本当に良かったと思います。  
メディアで育つ幼い子どもについては、とても心配していたので、先生のお話を聞いて絵本、紙芝居を今以上に大切にし、子ども達に伝えていこうと思いました。（保育士）
- ・紙芝居の演じ方、立ち位置、動作など具体的に細部まで注意するポイントを指導いただき大変勉強になりました。  
また、子どもの言葉の発達について意識をもって取り組みたいと思います。  
（おはなしボランティア）
- ・紙芝居の奥深さをとても感じることができました。  
今後、学んだことを生かしていきたいと思います。（公共図書館職員）